

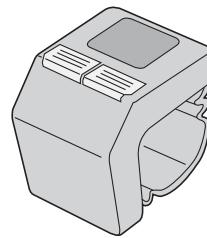
400-MA031

201 WW 11215127

400-MA028

201 WW 11215125

400-MA02C

最初に
ご確認
くださいセット
内容

- マウス本体 1台
- レシーバー 1台
- 充電用巻取りUSBケーブル 1本
- 取扱説明書(本書) 1部

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

1.はじめに

この度はリングマウス(400-MA031)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

2.安全にご使用いただくために

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。
- 0℃～40℃の気温環境でお使いください。
- 本製品に衝撃を加えないようにしてください。
- 保証規定をよく読み正しくお使いください。

3.警告

■テレビ・ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビ・ラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれかあるいはいくつかを組合せてお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じことがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

5.対応機種・対応OS

■対応機種

- Windows搭載パソコン
- Apple Macシリーズ

※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

■対応OS

- Windows 7・Vista・XP
- Mac OS X(10.3以降)

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。

※Mac OS X 10.7(Lion)の場合、OSの仕様上、トラックパッドのスクロール方向が上下反対になっているため、スクロールが逆になります。通常のスクロール方向へ設定したい場合は、「システム環境設定」→「トラックパッド」→「スクロールとズーム」タブの中の「スクロール方向:ナチュラル」にあるチェックを外してください。

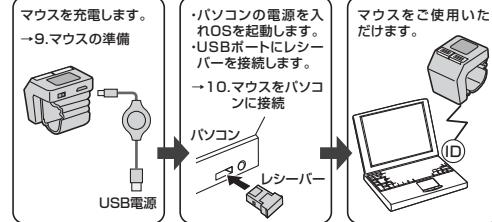
※機種により対応できないものもあります。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

6.接続手順

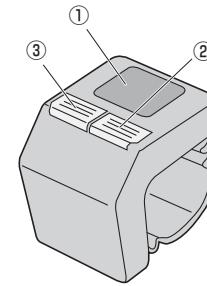
※最初に対応OSを確認してください。→4.対応機種・対応OS



7.特長

- 指先に取付けて操作するワイヤレスマウスです。
- 読み取りにレーザーセンサー方式を採用しているので、スムーズなカーソル操作ができます。
- 接続するだけで使用することができます。
- 本体は充電式で、付属のUSBケーブルのランプで充電状態を確認できます。
- 小型のレシーバーを採用しているので、パソコンに取付けたまま移動ができます。
- 左クリック、右クリック、スクロール切替の3ボタン付きで、スクロール切替ボタンでマウスカーソルとページスクロールの操作が切替わります。
- プレゼンを行う場合でも、卓上でマウス操作する必要がないのでスクリーンを見ながらスムーズに操作できます。
- 通常のマウスのように操作スペースが必要ないので、寝転がった状態でのパソコン操作も楽に行えます。

8.各部の名称とはたらき



①センサーパネル・左ボタン
・パネル上で指をすべらせてマウスカーソルを動かします。
・パネル部分を押すと、通常の左クリックとしてはたらきます。
・3秒間長押しするとドラッグ状態となり、ファイルの移動などがしやすくなります。もう一度押すと通常のカーソルモードに戻ります。

②右ボタン
通常の右クリックとして働きます。Windowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またボップアップメニューの表示もすることができます。

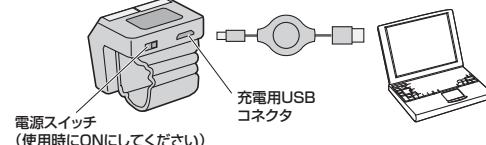
③スクロールボタン
ボタンを押すと、スクロールモードになります。センサーパネル上で指をすべらすとウィンドウのスクロールを行なうことができます。もう一度押すと通常のカーソルモードに戻ります。(スクロールモードとカーソルモードの切替時、画面上には切り替わったかどうかの表示は出ません。センサーパネルを動かし、どちらのモードになっているか確認して下さい。)

9.マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)

- マウス本体の充電用USBコネクタを付属の充電用巻取りUSBケーブルで電源供給可能なパソコンのUSBポートなどに接続します。

●自動的に充電を開始します。

(充電中はケーブルのUSBコネクタ内蔵LEDが点灯します。)

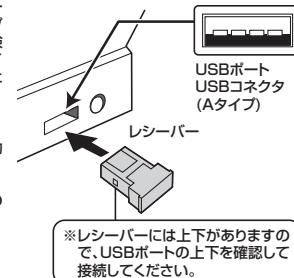


10.マウスをパソコンに接続(Windowsの場合)(続き)

■レシーバーを接続

※注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアブリケーション(ウィルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことを薦めます。

- ①パソコンの電源を入れて、Windowsを完全に起動します。
- ②レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。

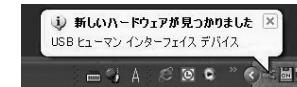


- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

〈Windows 7の場合〉
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows Vistaの場合〉
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows XPの場合〉
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



11.マウスをパソコンに接続(Mac OS Xの場合)

- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。

②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。

③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

④これでマウスをご使用いただけます。

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。

※Mac OS X 10.7(Lion)の場合、OSの仕様上、トラックパッドのスクロール方向が上下反対になっているため、スクロールが逆になります。通常のスクロール方向へ設定したい場合は、「システム環境設定」→「トラックパッド」→「スクロールとズーム」タブの中の「スクロール方向:ナチュラル」にあるチェックを外してください。

これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。

USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されているたり、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。

一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

■BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合

- BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。

通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

サンワサプライ株式会社